

当たり前

一宮中・3 竹生 愛良

私にとつて
なんてない日
いつもと同じ
当たり前

ご飯がある

当たり前

服を選べる

当たり前

蛇口をひねると、水が出てくる

当たり前

鳴りひびくサイレン

今日は

「8月15日」

七十七年前

私たちの当たり前は当たり前ではない

繰り返される

空襲

広島・長崎に落とされた

原爆

焼ける体

あつかった、だろう

足りない食料

辛かった、だろう

戦場の兵士

怖かった、だろう

、だろうでしか語れない

「本物」を知る人が

いなくなっていく

ひとり。

また、ひとり。

忘れるな

当たり前ではないことを

平和は当たり前ではないことを

学校がある

当たり前

宿題がある

当たり前

七十七年前

私たちの当たり前は当たり前ではない

より激しくなる戦争

足りなくなる人手

学びたくても、

学べなかった人たちがいる

戦地へ向かった学生

工場で働いた女の人

集団疎開をした子ども

忘れるな

当たり前ではないことを

学べることは当たり前ではないことを

当たり前はない

他と比較するための

ものさしの0を決めているだけ

人によって

国によって

時代によって

忘れるな

当たり前ではないことを

誰かの当たり前は当たり前ではないことを

私にとつて

なんてない日

いつもと同じ

当たり前

でも、過去の

「8月15日」とは違う

たぶん、未来の

「8月15日」とは違う

忘れるな

当たり前な毎日

当たり前ではないことを

